

座長：自見 はなこ(参議院議員)

- (1)「新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた地域医療構想及び第8次医療計画」
厚生労働省：鷺見 学(厚生労働省医政局地域医療計画課長)
- (2)「地域唯一の公立病院、地域中核病院としての矜持と役割」
公的病院：海保 隆(国保直営総合病院君津中央病院病院長)
- (3)「赤十字病院グループが目指す公的病院としての役割と未来」
公的病院：牧野憲一(日本赤十字社病院院長連盟会長・旭川赤十字病院院長)
- (4)「公と民、コロナ禍で見た役割分担と連携：福岡県の現状と課題」
公的病院：一宮 仁(国家公務員共済組合連合会浜の町病院顧問・福岡県地域医療構想アドバイザー)
- (5)「東京のコロナ禍における官と民の働き」
民間病院：猪口正孝(医療法人社団直和会平成立石病院理事長)
- (6)「都市部の民間病院からみた地域医療構想－真に効率的な地域医療体制を目指して－」
民間病院：太田圭洋(社会医療法人社団名古屋記念財団理事長)

◆特別シンポジウム

6月24日(土) 13:00～15:30 A会場

コロナ総括 新たな感染症への処方箋～日本の医療はどう対処したか～

座長：古川俊治(参議院議員/慶應義塾大学法科大学院・医学部外科教授)

館田一博(東邦大学微生物・感染症学講座教授)

- (1)「新型コロナウイルス・パンデミック対応に見る日本の医療の課題と今後」
国家行政：迫井正深(内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長・内閣審議官)
- (2)「時相変化に応じた戦略・戦術転換を前提とした健康危機マネジメントの重要性」
地方自治体：阿南英明(神奈川県医療危機対策統括官)
- (3)「特定機能病院としてのCOVID-19に対する先進的な取り組みと対策」
大学病院：相良博典(昭和大学病院病院長)
- (4)「民間病院の立場を振り返って考えてみる」
急性期病院：伊藤伸一(社会医療法人大雄会総合大雄会病院理事長)

(5)「民間中小病院(ケアミックス病院、回復期病院、療養病院)の対応」

慢性期病院：猪口雄二(医療法人財団寿康会寿康会病院理事長)

(6)「地域からの処方箋～地域の診療所の対応～」

クリニック：宮川政昭(医療法人愛政会宮川内科小児科医院院長)

(7)「コロナ禍での自宅宿泊療養者への医療支援を経験して感じた課題とこれから」

ファストドクター：菊池 亮(ファストドクター株式会社代表取締役)

◆市民公開講座

6月24日(土) 16:10～17:10 A会場

「恐竜を知ること、自分をちょっと変えてみよう？」

演者：真鍋 真(国立科学博物館副館長・研究調整役/標本資料センター・コレクションディレクター・分子生物多様性研究資料センター・センター長)

座長：村田 升(横浜メディカルグループ医療法人五星会菊名記念病院院長)

◆一般演題(口演・ポスター)

◆クリティカルパス展示

◆ランチョンセミナー・イブニングセミナー

【学術総会参加登録】

早期参加登録受付

早期参加登録受付は終了しました。

※参加登録(銀行振込)をした場合でも、期日までに参加費のご入金を確認できない場合は、参加登録は無効となりますのでご注意ください。

※ご入金後の返金には理由の如何に関わらず応じられませんので、予めご了承ください。

通常参加登録受付

期間：2023年5月22日(月)～会期終了時まで

通常参加登録受付期間はオンラインクレジットカード決済のみとなります。

通常参加登録費：11,000円

初期研修医 6,000円

学生 4,000円

※初期研修医は所定のフォーマットによる証明書、学生は学生証の提出が必要です。

証明書のフォーマットは、学術総会ホームページの参加登録ページよりダウンロードしてください。